

令和7年度事業報告

令和7年度の事業につきまして次のとおりご報告いたします。

1 広報に関する事業

- (1) 会員事業所に対し、当協会からのお知らせや社会保険制度の改正内容及び事務手続き等の情報を掲載した広報誌「社会保険かごしま」を奇数月に年6回発行しました。

「社会保険かごしま」は、県内日本年金機構各年金事務所（以下「年金事務所」という。）及び全国健康保険協会鹿児島支部（以下「協会けんぽ」という。）の窓口にも備え置きました。

併せて当協会のホームページに掲載し、広く社会保険制度の周知を図りました。

- (2) 会員事業所に対し広報誌「協会だより」を4月に発行し、令和7年度事業計画等を周知しました。併せて当協会のホームページに掲載し、一般の方に対しても情報を提供しました。
- (3) 会員事業所の社会保険事務担当者が円滑に事務手続きを進めることができるよう、5月に実務書「社会保険実務の手引き（鹿児島県版）」を作成し、会員事業所に配布しました。
- (4) 毎月、年金事務所及び協会けんぽと連絡会議を開催し、協会事業の円滑な推進について協力・連携を図りました。

2 研修・相談事業

- (1) 社会保険事務担当者を対象に、社会保険制度やその事務手続き等において理解を深め知識の向上を目指すことを目的に、社会保険労務士等を講師として各地区で「事務研修会」を実施しました。

・事務担当者研修会 35会場 参加者 974名

- (2) 新規の社会保険適用事業所を対象とした算定基礎説明会を年金事務所と開催するとともに、当協会の事業を説明し加入促進に努めました。

・算定基礎研修会 5会場 参加者 254名

- (3) 社会保険事務担当者を対象に、年金事務所、協会けんぽ及び社会保険委員会と合同で、年金事務所及び協会けんぽの職員を講師として「社会保険合同実務研修会」を実施しました。

・社会保険合同実務研修会 6会場 参加者 543名

- (4) 会員事業所の社会保険事務担当者を対象に、社会保険労務士を講師として社会保険制度の基礎（公的年金・健康保険・労働保険）についてテーマ毎に学ぶ「社会保険事務基礎講座」を開講しました。

・社会保険事務基礎講座 18回 参加者 延520名

3 福利厚生事業

(1) スポーツ大会

健康の保持増進を図ることを目的に関係機関とも連携して各種スポーツ大会を実施しました。

- ・バレーボール 15チーム 参加者 325名
- ・ソフトボール 会場が確保できなかったため中止
- ・ボウリング（2会場） 20チーム 参加者 60名

(2) 脳ドック検診助成

被保険者の疾病の早期発見・早期治療を支援するため検診費用の一部助成を行いました。（1人3,000円助成：1事業所6名まで）

- ・助成金申込者 29名（令和6年度 19名）

(3) 施設利用助成

被保険者等の健康増進及び福利厚生を図ることを目的に利用料の一部助成を行いました。

- ・契約施設利用料の一部助成（1人1泊：1,000円助成）
利用申込者 22名（令和6年度 8名）
- ・いおワールドかごしま水族館入館料の一部助成
（大人500円、小人300円、幼児100円（令和7年9月まで：以後は無料）助成）
利用申込者 6,267名（令和6年度 7,086名）

4 育成事業

県内各社会保険委員会（社会保険の事務担当者等である年金委員、健康保険委員で構成）及び鹿児島県社会保険委員会連合会の事業活動に対して協力・支援を行いました。

(1) 年金シニアライフセミナー（主催：鹿児島県社会保険委員会連合会）

- ・鹿児島市会場 参加者 37名
- ・始良市会場 参加者 24名

(2) グラウンドゴルフ大会（主催：鹿屋社会保険委員会）

- ・鹿屋市 参加者 44名（11チーム）

5 会議等の開催

会の運営に関する会議を開催いたしました。

- ・理事会、評議員会の開催
- ・各種事業打合せ会等開催